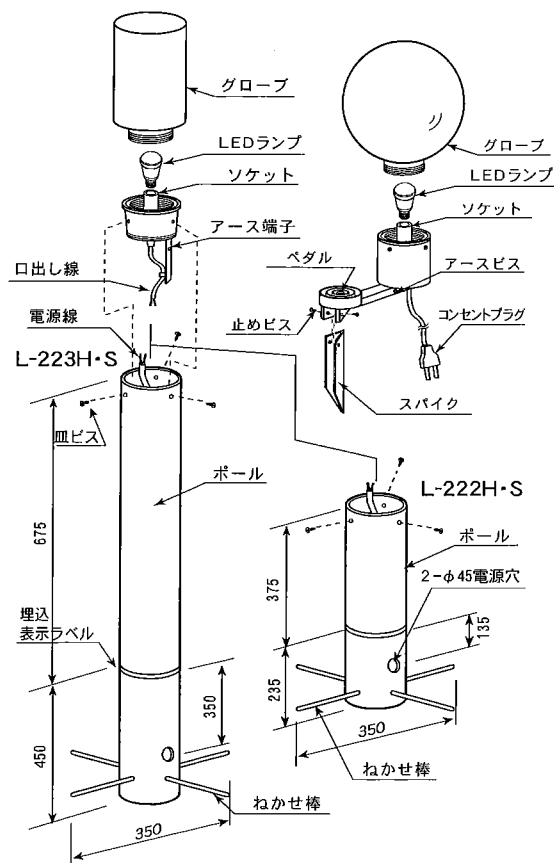


◆各部の名称

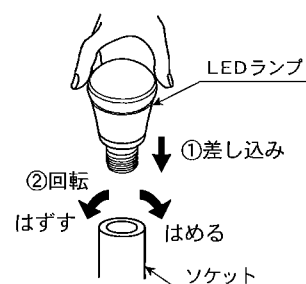
この図は一部省略抽象した共通部品図です

- ポール取付タイプ
ERL8148H, ERL8176H, ERL8178H, ERL8180H・S, ERL8182H・S
- スパイクタイプ
ERL8149H, ERL8177H, ERL8179H, ERL8181H・S, ERL8183H・S,
- ポール L-222H・S, L-223H・S



◆ランプ取付寸法

- ①ソケットにランプを差し込み、
 - ②右に回して取付けてください。
- 外す場合は上の逆に、左に回すと取りはずせません。



◆仕様

型番	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ		口金
ERL8148H, ERL8149H, ERL8176H, ERL8178H, ERL8180H・S, ERL8182H・S, ERL8177H, ERL8179H, ERL8181H・S, ERL8183H・S,	AC100V	50Hz/60Hz	5W	90mA	LEDZ LAMP	RAD-427L	1灯 E17

◆取付方法

※配線工事は必ずD種接地工事を施してください。

⚠ 火災・感電の原因となります。

■ポール取付タイプ

1. 器具重量に耐える様、地面の取付部を確保してください。

⚠ 強度不足ですと、転倒の原因となります。

※花壇など地面のやわらかい所ではコンクリートの基礎を作成することをおすすめします。

2. 安全確保のため、電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

3. ポールの電源穴より電源線を引き込んでください。
4. ポール下部の挿入穴にねかせ棒を挿入してください。
5. ポールを埋込表示ラベルがかけられるまで埋込んでください。
6. 電源線を口出し線と結線してください。同時にアース線を接続してください。(D種接地工事)

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

7. 本体をポールに落とし込んで、皿ビスで確実に固定してください。
8. LEDランプを「ソケット」に確実に取り付けてください。(ランプ取付方法参照)

⚠ LEDランプがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

⚠ LEDランプを強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

⚠ 点灯中や、消灯直後(消灯後20分まで)にLEDランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。

9. 本体にグローブをねじ込んでください。

⚠ 取付に不備がありますと、浸水による、感電、火災の原因になります。

■スパイクタイプ

1. 器具重量に耐える様、地面の取付部を確保してください。

⚠ 強度不足ですと、転倒の原因となります。

2. スパイクをベダルの下部に、止めビスで固定してください。
3. ベダルを踏みつけて、スパイクを地中に差し込んでください。

⚠ 差し込みに不備がありますと、転倒の原因となります。

4. LEDランプを「ソケット」に確実に取り付けてください。(ランプ取付方法参照)

⚠ LEDランプがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

⚠ LEDランプを強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

⚠ 点灯中や、消灯直後(消灯後20分まで)にLEDランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。

5. 本体にグローブをねじ込んでください。

⚠ 取付に不備がありますと、浸水による、感電、火災の原因になります。

6. アース端子にD種接地工事を施してください。
7. コンセントにプラグを接続してください。

◆適合ランプ(球付)

ランプ	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ色	調光	口金
RAD-427L	AC100V	50Hz/60Hz	5W	90mA	電球色タイプ(2700K)	調光不可	E17

⚠ 適合LEDランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。

⚠ LEDランプ交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆LED光源について

- ・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDランプが完全に消灯しない場合があります。
- ・ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- ・赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作する場合があります。
- ・大電力機器(コピー機、ドライヤー、電子レンジ、冷暖房機器など)を使用した場合の瞬時的な電圧変動によって、ちらついたり明るさが変化したりする場合があります。

■清掃方法について

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

- 中性洗剤をうすめ布につけ、よく絞ってから拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

・電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。